

1 主題構成表

主題名 自分をささえてくれる人へのかんしゃ  
資料名 「ぼく知らなかったよ」

<p><b>■内容項目 B 感謝</b></p> <p>家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。</p>	<p><b>■内容項目から見た児童の実態 (意識)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡小学校の取組としての「よいことみつけ」で他学年の児童のよさを見付けたり、帰りの会で学級の仲間のよさや感謝の気持ちを伝えたりすることができる。</li> <li>・家族や仲間など、身近な人には感謝の気持ちをもったり、伝えたりすることができるが、地域ボランティアの方など、見えないところで支えてくれている人々への感謝の気持ちをもつことや伝えることができていない。</li> </ul> <p><b>(要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活を支えてくれている人についての意識が十分でなく、関わりに気付いていない。</li> <li>・支えてくれている人の思いを考えることがなく、支えてもらうのは当たり前と感じている。</li> </ul>	<p><b>■教材の分析</b></p> <p><b>「ぼく知らなかったよ」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公のたっくんは、そうじロッカーが修繕されていたことをきっかけに、用務主事の井上さんの存在を意識するようになる。自分の知らないところで様々な仕事をしている井上さんが、子供たちの安全と、気持ちのよい生活を願って働いていること知り、改めて尊敬と感謝の気持ちをもつ。</li> <li>・児童も、身近な家族や友達だけでなく、多くの人から自分たちの幸せを願って支えてくれていることを知ること、自分も感謝の気持ちをもって人の役に立ちたいという気持ちをもつことができると考える。</li> </ul>
--	--	--

**■ねらい**

日常生活を、見えないところで支えてくれている人々がいることに気づき、そのような人々への感謝の気持ちをもって生活していこうとする心情を育てる。

<p><b>■展開の構想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちの生活を支えてくれている人はだれか」を問い、価値の方向付けをする。</li> <li>・井上さんがどのような思いで働いているかを考えることで、子供たちの幸せを願う気持ちに気付くことができるようにする。</li> <li>・たっくんがもう一度お礼を言いたくなったときの気持ちを考えることで、見えないところで自分たちのために働いてくれている人に対する感謝の気持ちへの共感を促す。</li> <li>・登校の見守りを長年続けているボランティアの方の思いを知ること、自分たちのために活動してくれていることへの尊敬と感謝の気持ちをもつことができるようにする。</li> <li>・自分たちの生活を支えてくれている人々に対する尊敬や感謝の思いと、それをどのような行動で表していきたいかを考え、書くことで、自己理解を深める。</li> </ul>	<p><b>■判断力・心情・実践意欲を高める工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○[中心発問] もう一度お礼を言いたくなった主人公の気持ちを考える活動を通して、自分たちの幸せを願う井上さんの思いを、ありがたく感じる主人公に共感できるようにする。</li> <li>○[学習形態] 主発問後にグループ交流を行い、仲間の考えを知ること、井上さんの行為に対してだけでなく、自分たちの幸せを願う思いに感謝したいと思う主人公の気持ちに気付くことができるようにする。</li> <li>○[表現活動] 教材にとどまらず、自分たちの地域でボランティアをしてくださっている方の思いを知ること、自己との関わりをより明確にし、考えを深めることができると考えた。</li> </ul>
--	---

**■道徳科と他の教育活動との関連**

道徳科「ぼく知らなかったよ」→学級活動「係活動を見直そう」、総合的な学習「大豆をしゅうかくしよう」

## 2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇自分たちの生活を支えてくれている人について考える。</p> <p>○私たちの生活を支えてくれている人はだれですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さん、お母さん。</li> <li>・友達。</li> <li>・先生たち。</li> <li>・ボランティアの人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的な関わりのある人は挙げられるが、間接的に支えてくれている人には気付いていないことから、本時の価値の方向付けをする。</li> </ul>
展開前段	<p style="text-align: center;"><b>私たちの生活を支えてくれている人について考えよう。</b></p> <p>◇教材「ぼく知らなかったよ」を読み、話し合う。</p> <p>○線を引いたところとその理由を発表しましょう。</p> <p>○井上さんは、どのような思いで働いているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のみんが安全に生活できるようにしたい。</li> <li>・みんなが気持ちよく勉強してほしい。</li> </ul> <p>◎たっくんはなぜ、もう一度お礼を言いたくなったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで気付かなかったから。</li> <li>・自分たちの学校を井上さんがずっと守ってくれていたことを初めて知ったから。</li> <li>・学校のためにたくさんの仕事をしてくれている井上さんはすごいと思ったから。</li> <li>・自分たちのためにしてくれていることがうれしかったから。</li> <li>・自分たちの見えていないところで働いてくれていることをすごいと思ったから。</li> <li>・自分たちの安全を願って働いてくれていることがうれしかったから。</li> <li>・自分たちが気持ちよく勉強できるようにと思ってくれていることにお礼を言いたくなったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わ「わかる」、す「すごい」ど「どうして」の観点で教材に線を引きながら聞くよう促す。</li> <li>・線を引いたところとその理由をたずねる中で、井上さんがたっくんたちの見えていないところでも働いていたことを確認する。</li> <li>・ロッカーを直してくれたことについては「ありがとう」と言ってあることを板書に位置付ける。</li> <li>・子供たちの安全や幸せを願う井上さんの思いを板書に位置付け、たっくんが「もう一度」お礼を言いたくなった理由に気付くことができるようにする。また、後段で、登校を見守ってくださっている石田さんの思いと共通する部分があることにも気付くことができるようにする。</li> </ul>
展開後段	<p><b>【まとめ】私たちの生活を支えてくれている人は、私たちの幸せを願って、見えないところでも支えてくれている。</b></p> <p>◇自分たちの地域にも生活を支えてくれている人が多くいることを知り、そのうちのお一人で、毎朝登校を見守ってくださっている石田さんにお話を聞く。</p> <p><b>【石田さんのお話】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りをするようになったきっかけ。</li> <li>・どのくらいの間、見守りを続けているか。</li> <li>・どのような思いで見守っているか。</li> </ul>	<p><b>【深めの発問】</b> ★1回目のありがとうと2回目のありがとうでは、何が違うのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主発問後のグループ交流を通して、自分たちの生活を支えてくれている人の思いや願いを知ること、感謝の気持ちをもった主人公に共感できるようにする。</li> <li>・井上さんのしてくれた行為だけでなく、子供たちの安全や幸せを願う思いに感謝の気持ちをもった、という発言が全体交流で出なかった場合は、深めの発問後に、再度グループ交流を行い、価値の高まりを促す。出た場合は、その意見についてどう考えるかを問う。</li> <li>・学校生活でお世話になっている人や、地域でボランティアをしてくださっている方の写真を提示し、自分たちにも、生活を支えてくれている人がいることに気付くことができるようにする。</li> <li>・長年にわたる見守りは、自分たちの安全や幸せを願う思いに支えられた行動であること、また自分たちの将来を期待する思いもあることに気付いて、それに応えようという気持ちももてるよう、石田さんのお話の中のキーワードを板書する。</li> </ul>
終末	<p>◇石田さんに思いを伝える。</p> <p>○石田さんに今の気持ちを伝えましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">長い間見守ってくださって、ありがとうございます。石田さんがわたしたちの安全をねがって毎日見守ってくださっていることを知って、うれしかったです。これからは、石田さんのように見守ってくださっている方にあいさつをするとき、ありがとうの気持ちをこめてあいさつをしたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活を支えてくれている人々に対する尊敬や感謝の思いと、それを自分がどのような行動で表していきたいかを書くことを確認する。</li> </ul> <p>&lt;変容の見届け&gt; 家族や先生のほかにも、自分の見えていないところでたくさんの人が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもって生活していこうとする心情が育ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数名の児童を指名する。</li> </ul>